

図書館だより 特別号



2019.7 立花小学校図書館

家読(うちどく)のすすめ 編

保護者の皆様には、ぐりぐらの会の朝の読み聞かせをはじめ、様々な場面で、いつも図書館教育にご協力いただき、ありがとうございます。

立花小学校では、毎週木曜日を「立花っ子を育てる読書の日(家読の日)」として、家読が宿題として出ています。今回は、「そもそも家読とはなにか」「具体的な取組み方法」についてご説明します。

家読とは、「子どもが家で本を読む」ことではなく、「家族で、読書を通してコミュニケーションを図る。(その習慣をつける)」ことです。

基本は家族みんなで読書をし、読んだ本について話します。つまり、お家の方もテレビを消し、一緒に読書をしていただくことになります。一緒に読書をするのが難しければ、本について、子どもたちとお話をされるのでもかまいません。お忙しいとは存じますが、ご協力をお願い申し上げます。



家読は「家族の絆」を深めると共に、豊かな想像力と豊かな言語コミュニケーション能力を養うことができます。

家読(うちどく)の方法

①家族で話し合っ、家読の日を決める。

立花小学校では木曜日に宿題が出ますが、家族の集まりやすい日に行うのがよいと思います。(例えば、木曜日にするのが無理なご家庭は、土日にされているところもあります。)

②我が家の家読スタイルを話し合っ決めて。

絵本の読み聞かせ・おすすめの本紹介・それぞれ好きな本を読み、その後感想を言い合う 等…

③家族で話し合っ読む本を決める。

家読スタイルによっては、家族それぞれが本を持ち寄ることも。

④家読の記録を残す。

お子様の読書記録ファイルをご活用ください。※1年生は2学期からの使用になります。



低学年におすすめの家読(うちどく)スタイル

「絵本の読み聞かせ」

低学年期は、絵を楽しむ読書から、文章から想像して楽しむ読書の移行期間です。スムーズに移行するためにも、まずは絵本の読み聞かせからはじめ、読み手を親から子にかえたりして、絵本を十分に家族で楽しんでください。その後、徐々に幼年童話を取り入れていきましょう。



立花小学校読書記録用紙の書き方

(例)

おすすめは、ほしをぬってください。					
	ほんのなまえ	さくしゅ	よんだひ	よんだひと	ひとことかんそう
1	よもぎだんご	さとくわきこ	4月26日	わたし おかあさん	よもぎだんごを みんなでつくり たいとおもいま した。
2					

家族の誰が読んだのか記入してください。
名前でも、呼称でも可。(例) お母さん・自分

基本的には子どもが書きます。
お家の方が書かれる時は、子どもの感想の後に記入してください。
家族それぞれが別の本を読んだ場合は、子どもの次の枠に書いていただければうれしいです。